

大樽川発電所事業性評価調査事業

1. 事業の目的

本業務は、山形県大樽川発電所計画について、地形測量、正常流量調査、主要構造物等の基本設計、施工計画の策定を実施し、計画実現に向けた基礎資料を作成することを目的とした。

2. 事業の内容

(1) 事業者名

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

(2) 事業名

大樽川発電所事業性評価調査事業

(3) 事業期間

平成 30 年 7 月 2 日～平成 31 年 2 月 28 日

(4) 調査を実施する発電設備の概要

a.型 式：水路式

b.使用水量：1.90m³/s

c.有効落差：62.80m

d.出 力：940kW

3. 平成 30 年度の事業実施概要

① 正常流量調査

漁業、景観、動植物の保護、流水の清潔の保持、水利流量について必要流量を検討し、これらを総合的に評価して正常流量を算定した。

② 測量調査

計画地点において下記項目の測量調査を実施した。

1)基準点測量（2級基準点3点、4級基準点3点4点）、2)地形測量（0.15km²）、3)河川測量（縦断測量L=1.08km、横断測量W=40m×56断面）、4)用地測量（0.029km²）

③ 主要構造物の基本設計

取水ダム、沈砂池、導水路、水槽、余水路、水圧管路、発電所、放水路、放水口、水車・発電機等の基本設計を実施し、発電諸元の決定、設計図書の作成を実施した。

④ 施工計画および工事工程

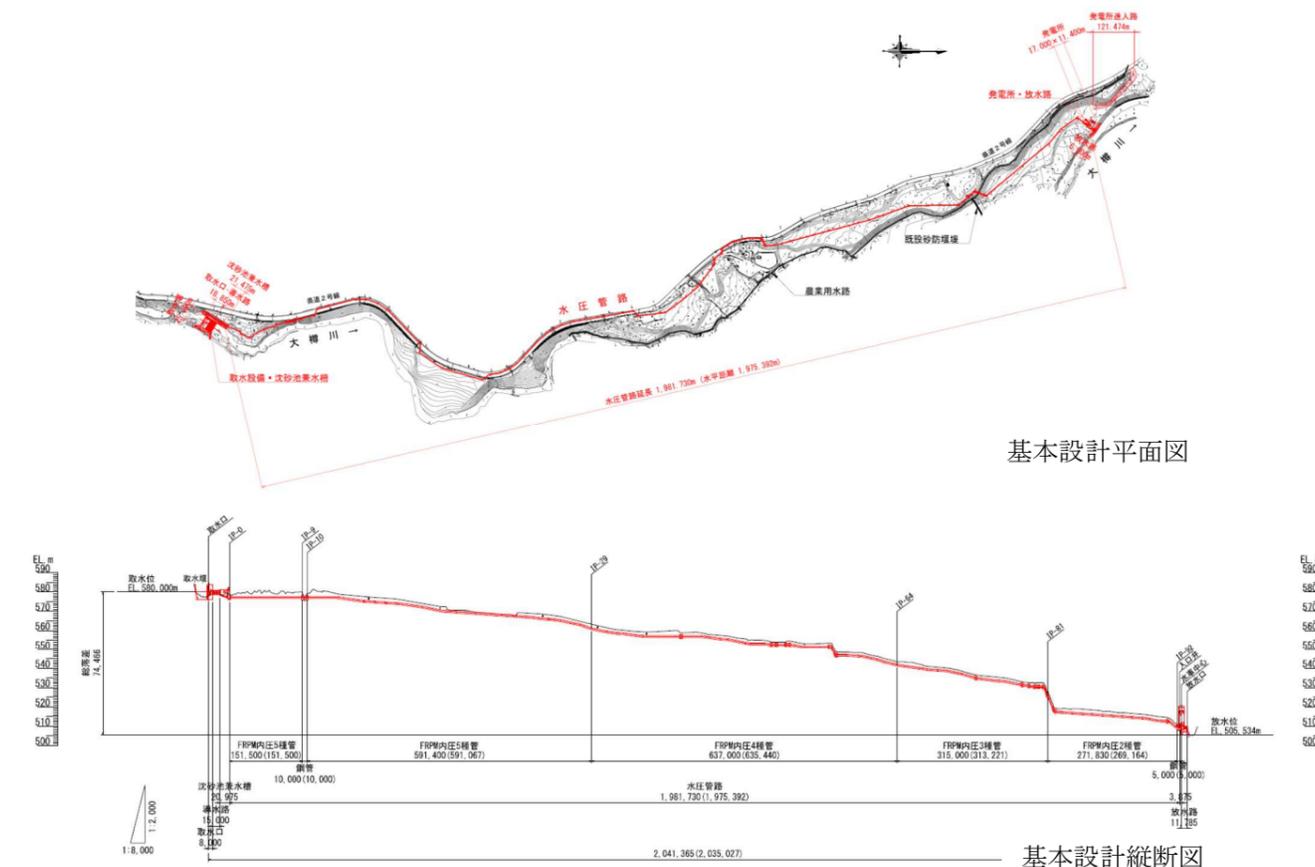
施工計画及び工事工程は、最適発電計画案について、周辺の自然環境等現地の状況を考慮したうえで、主要構造物の施工方法、土捨場、仮設備工事及び工事工程について立案した。

⑤ 総合検討

検討成果について総合検討を行い、今後の実施設計及び建設施工に対する検討事項、課題等について整理した。

4. 事業の成果等

各調査に基づき基本設計を行うことで発電計画を精緻にすることができた。FS 調査時から大きく変更したポイントとしては、流量実測データを用いた最大使用水量の見直し、取水地点および沈砂池兼水槽の位置、水圧管路ルート、発電所位置等が挙げられる。現時点では、事業性はあるものと考えており、今後、主要構造物建設地点等で地質調査を行うことで、更に高精度な事業性評価を行う予定である。



5. 事業スケジュール

	平成30年						平成31年		備考
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
準備作業		■							
基本事項の検討及び算出		■	■						
主要構造物の基本設計			■	■	■				
計画諸元の算出							■	■	
仮設備、付帯工及び雑工事						■	■	■	
施工計画及び工事工程						■	■	■	
工事数量の算出							■	■	
設計図書の作成					■	■	■		
正常流量調査		■	■	■	■	■			
測量調査		■	■	■	■	■			基準点測量、水準測量、地形測量、河川測量、用地測量
総合検討								■	



正常流量調査実施状況



測量調査実施状況